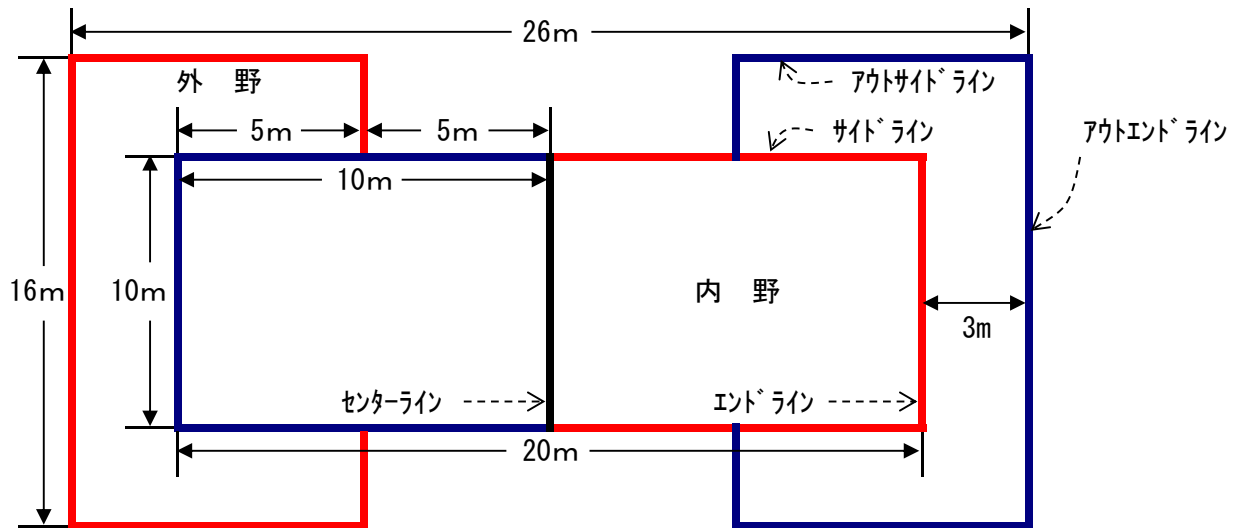


第18回能代市ドッジボール大会

— 競技規則 —

(1) コートルール



(2) 競技ルール

- ① 内野と外野に分かれてプレイし、競技終了時における内野プレイヤーの人数によって勝敗を決める。
- ② 予選リーグ戦及び決勝トーナメント戦方式（出場チーム数により変更する場合がある）とし、全試合1セット5分間の1セットマッチとする。ただし、決勝トーナメント方式での決勝戦は1セット5分間の3セットマッチとする。
- ③ 競技開始当初は、外野に1名以上配置する。競技中、外野プレイヤーは常に1名以上おく。
- ④ 先攻はジャンケンで決め、主審のホイッスルで開始する。
- ⑤ 外野プレイヤーが相手内野プレイヤーをアウトにした場合、内野プレイヤーになることができる。（外野プレイヤーは常に1名以上に注意）
- ⑥ 相手チームの投げたボールに2人以上続けて当たった場合、最初に当たった人がアウトになる。最後に味方が捕球した場合、全員がセーフになる。
- ⑦ プレイが一端中断し再開する場合は、ボールを頭の上に上げ、主審のホイッスル後に再開する。／**ボールアップ**
- ⑧ 試合中、コート（内外野）の外にボールが出た時、ボールデッドとなる。その場合、最後にさわったのが内野の選手の場合、相手の内野ボールになるが、最後にさわったのが外野の選手の場合、自分の外野ボールになる。／**ワンタッチ**
※ワンタッチはあくまで最後に“手”でさわった場合のみ。体の一部では、ワンタッチは認められない。但し、外野が投げたボールが直接ボールデッドになった場合は、相手の内野ボールとなる。
- ⑨ 味方の内野同士のパス並びに味方の外野同士のパスを禁止する。【**ダブルパス**】
- ⑩ パスは4回までとする。【**ファイブパス**】
- ⑪ 投球に際し（投球動作中及び動作完了後）、足がラインを踏んだりラインを越えてはならない。捕球も同様である。【**オーバーライン**】
- ⑫ 内野・外野プレイヤーとも、相手コート面に接しているボールは、手を伸ばして取れない。【**ホールディング**】
- ⑬ 顔面及び頭部を狙った攻撃を禁止する。【**ヘッドアタック**】
- ⑭ リーグ戦は勝ち点制を採用して順位を決定するが（勝ち：2点、引き分け：1点、負け：0点）勝ち点の合計点数が同じ場合は、各試合終了時の味方内野人数の合計が多いチーム・直接対決の勝者・各試合終了時の相手内野人数の少ないチームの順で上位を決定する。
- ⑮ トーナメント戦の終了時、内野人数が同数の場合はサドンデスゲーム（セット終了時のままでジャンケンにより再開し、最初にアウトをとったチームの勝ち）を行なう。
- ⑯ 審判への抗議は一切認めない。【**テクニカルファール**】
- ⑰ 反則行為があっても、それを罰しない方が反則を受けた側に有利になると主審が認めて、プレーを続行する場合がある。／**アドバンテージ**

試合前に何らかの事情で競技人数が定数に満たない場合は、一般8対7、小学生12対11というように、少ない人数に合わせての試合は行わず、そのままの人数で試合を行います。

※ [] 内はファール名